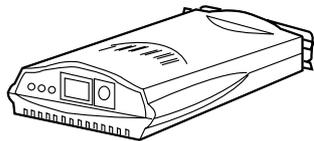


Ethernet Adapter

10/100Mbpsマルチプロトコル対応
コンパクト1ポートプリントサーバ

LD-1PSTL/TX

必ずお読みください	P1~13・15・16
本製品を取り付ける	P14
管理コンピュータの設定	P17~21
LP-PS Adminの設定	P22~28
クライアント側の設定	P29~39
ポート設定と印刷 (Laneed LPRの設定)	P40~46
必要に応じてお読みください	P47~52



User's Manual

マニュアルの構成について

本製品には、マニュアルが2種類付属しています。

LD-1PSTL/TX ユーザーズマニュアル(このマニュアルです)

ピア・ツー・ピアを利用した小規模なWindowsネットワークで本製品を使用することを前提に説明しています。本製品を使用するために必要なコンピュータ側の設定を含め、本製品の取り付け/設定からアプリケーションを使って印刷を実行するまでの手順を細かく説明しています。

LD-PS Admin ソフトウェアマニュアル(付属CD-ROM内にpdfでのご提供)

「LD PS Admin」は、ネットワーク管理者などがWindows上で本製品を管理するために利用するユーティリティです。ピア・ツー・ピアを利用した小規模ネットワークでは、基本設定以外には利用することはありません。

Windows XP Home Editionが存在する環境でご利用の場合

本製品の導入設定のためにユーティリティ「LD-PS Admin」を利用するには、IPX/SPXプロトコルが使用できるOSがインストールされた管理用コンピュータが必要です。しかし、Windows XP Home EditionはIPX/SPXプロトコルを使用するために必要な「NetWare用クライアント サービス」に対応していないため、Windows XP Home Editionを搭載したコンピュータを管理用コンピュータとして使用することはできません。管理用コンピュータには、10ページ「LD-PS Adminの対応OS」に記載されたOSを搭載したコンピュータをご利用ください。なお、本製品を経由して印刷に使用するクライアントとしてWindows XP Home Editionを搭載したコンピュータを使用することはできません。

ご注意

- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しましては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社ラード・サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外国為替法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- 本製品は日本国内での使用を前提に製造されています。日本国外での使用による結果について弊社は一切の責任を負いません。また、本製品について海外での保守、サポートはおこなっておりません。
- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®および™は省略させていただきます。

10/100Mbpsマルチプロトコル対応
コンパクト1ポートプリントサーバ

LD-1PSTL/TX

User's Manual
ユーザーズマニュアル

■ はじめに ■

この度は、弊社ラードの10/100Mbpsマルチプロトコル対応コンパクト1ポートプリントサーバ「LD-1PSTL/TX」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマニュアルには、「LD-1PSTL/TX」をコンピュータに導入するにあたっての手順が説明されています。また、お客様が「LD-1PSTL/TX」を安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。導入作業を始める前に、必ずこのマニュアルをお読みになり、安全に導入作業をおこなって製品を使用するようにしてください。なお、このマニュアルでは一部の表記を除いて「LD-1PSTL/TX」を「本製品」と表記しています。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

●このマニュアルで使われている記号

記号	意味
	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。
	キーボード上のキーを表わします。

安全にお使いいただくために

Laneed

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

 警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

 **警告**

 本製品の取り付け、取りはずしの際は、必ずコンピュータ本体および周辺機器メーカーの注意事項に従ってください。

 小さな子供のいるそばで、本製品の取り付け、取りはずしの作業をおこなわないでください。また、子供のそばに工具や部品を置かないようにしてください。けがや感電、部品を飲み込んだりする危険性があります。

 ACアダプタは本製品に付属のものを使用してください。また、ACアダプタは国内の商用電源100V以外は使用しないでください。付属のもの以外のACアダプタを使用すると、火災や故障の原因になります。

 万一、本製品の使用中に異常音や異常臭、煙がでるなどの異常があれば、直ぐにプリンタの電源を切って、本製品を取りはずしてください。その後は、ご購入店などにご連絡ください。

 **注意**

 本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。

 本製品および本製品を取り付けたコンピュータ本体を、水を使う場所や湿気の多いところで使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。

 本製品および本製品を取り付けたコンピュータ本体を次のようなところで使用しないでください。

- ・高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
- ・直射日光のあたるところ
- ・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
- ・静電気の発生するところ、火気の周辺

Laneed LPRのライセンスについて

Laneed LPRは本製品1台につき、コンピュータ5台までインストールすることができます。6台以上のコンピュータにインストールする場合は、別途「ELECOM LPR MLP(5ライセンスパック)」≒¥9,800を利用数だけご購入いただく必要があります。ご購入については、弊社ラニード・サポートセンターへご連絡ください。

このマニュアルでは、Windowsのピア・ツー・ピア環境で本製品を利用するための基本的な導入手順を説明しています。他のネットワーク環境で使用する場合は、pdf版「LD-PS Adminソフトウェアマニュアル」などを参考にして設定してください。

●初心者の方が確実に導入できる方法は・・・

コンピュータを1台だけにした最小構成でネットワークを構築し、そのコンピュータから印刷できるように作業してみてください。そのコンピュータから正しく印刷できるのであれば、各コンピュータをネットワークに接続し、同じように設定してください。

■導入の手順（※Windows XP Home EditionはLD-PS Adminを使用できません。）

パッケージの内容を確認する →P7

本製品を取り付ける →P14

本製品を管理するコンピュータに
IPX/SPXプロトコルを登録する →P17

LD-PS Adminを使用するには、IPX/SPXプロトコルが必要になりますので、LD-PS Adminをインストールするコンピュータに、IPX/SPXプロトコルを登録します。*

本製品を管理するコンピュータに
LD-PS Adminをインストールする →P22

本製品をネットワークで利用できるようにするため、ネットワーク上のコンピュータのいずれか1台に設定ユーティリティ「LD-PS Admin」をインストールする必要があります。*

LD-PS Adminの基本設定を確認する →P24

LD-PS Adminで本製品の基本内容を設定します。

次ページへ続く

各クライアントにプリンタドライバをインストールする →P29

各クライアントには、コンピュータとプリンタを直接接続しているときと同じように、プリンタのドライバをインストールしておきます。

各クライアントにTCP/IPプロトコルを設定する

本製品をWindowsで使用するには、TCP/IPプロトコルが必要です。プリンタを利用するすべてのクライアントのネットワーク設定にTCP/IPプロトコルが登録されていることを確認します。

Windows Me/98/95 →P30 Windows XP/2000 →P35

IPアドレスを設定する

DHCPサーバ機能を使用していない場合は、各クライアントにIPアドレスを手動で割り当てます。

Windows Me/98/95 →P33 Windows XP/2000 →P35

各コンピュータにLaneed LPRをインストールする →P38

ピア・ツー・ピア環境でアプリケーションからダイレクトに印刷できるようにIPダイレクト印刷ユーティリティ「Laneed LPR」をインストールします。

Laneed LPRの設定をする →P40

Laneed LPRの必要事項を設定します。

プリンタの印刷ポートの設定をする →P43

各クライアントのプリンタのプロパティで印刷用のポートを選択します。

テスト印刷を実行する

ワープロソフトなどから印刷を実行してみます。

※導入後に、必ずユーザ登録をおこなってください。

マニュアルの構成について

はじめに 1

安全にお使いいただくために 2

導入の手順 4

もくじ 6

1. パッケージの内容を確認する 7

2. 製品の保証とユーザ登録 8

3. 本製品の概要について 9

 本製品の特長 9

 本製品の動作環境 10

 Windows XP Home Editionでのご注意 11

 Macintoshで利用する場合 11

 各部の名称とはたらき 12

 付属ソフトウェアについて 13

4. 本製品の取り付け 14

5. 設定をはじめの前に 15

6. 管理用コンピュータを設定する 17

 IPX/SPXプロトコルを登録する 17

 LD-PS Adminをインストールする 22

 LD-PS Adminの基本設定をする 24

7. クライアント側の設定をする 29

 プリンタドライバをインストールする 29

 Windows Me/98/95での設定(TCP/IPプロトコル) 30

 Windows Me/98/95での設定(IPアドレス) 33

 Windows XP/2000での確認 35

 Laneed LPRをインストールする 38

8. ポートの設定とテスト印刷 40

 Laneed LPRを設定する 40

 登録したポート情報を保存する 42

 プリンタの設定をする 43

9. こんなときは 47

10. サポートサービスについて 50

11. 基本仕様 52

本製品のパッケージには、次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店または弊社ラニード・サポートセンターまでご連絡ください。

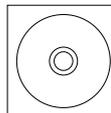
- **プリントサーバ**
(LD-1PSTL/TX本体)



- **電源アダプタ**
本製品専用のアダプタです。



- **CD-ROMディスク 1枚**



- CD-ROMディスクの内容
 - ・ LD-PS Admin
 - ・ 設定ユーティリティおよびpdfマニュアル
 - ・ Laneed LPR
 - ・ 設定ユーティリティ

- **ユーザズマニュアル 1冊**
- **ユーザ登録カード 1枚**
- **保証書 1枚**
(このマニュアルです)



2 製品の保証とユーザ登録

Laneed

製品の保証とサービス

本製品には保証書が付いています。内容をお確かめの上、大切に保管してください。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますので、ご注意ください。
・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
・本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
・本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

●修理の依頼

50ページ「修理の依頼」をお読みください。

●その他のご質問などに関して

50ページ「10.サポートサービスについて」をお読みください。

ユーザ登録

製品の導入が完了したらユーザ登録をおこなってください。お客様のユーザ登録は、インターネットからのオンライン登録または付属のハガキで登録することができます。

●オンラインでの登録

弊社ラニード・ホームページから登録が可能です。
ホームページアドレス：<http://www.elecom.co.jp>

●付属のユーザ登録カードでの登録

必要事項をご記入の上、ご投函ください。品番とシリアル・ナンバーは控えておいてください。

3 本製品の概要について

Laneed

本製品の特長

●プリンタに直付けだからコンパクトで簡単接続

プリンタに直付けのコンパクトタイプです。パソコンを使ったプリントサーバに比べて、非常にコンパクトでリーズナブルです。接続方法もプリンタの平行ポートに接続するだけです。プリントサーバ自体の置き場所にも困りません。

●設定ユーティリティ「LD-PS Admin」が付属

本製品には、Windows用の設定ユーティリティ「LD-PS Admin」が付属しています。このユーティリティは、Windows環境で本製品など弊社製プリントサーバの設定と管理が簡単にできます。また、設定ユーティリティはTelnetに対応していますので、プリントサーバ管理用のステーションでWindowsが使えない場合でも、Telnetを使って各種設定や管理をおこなえます。
※Windows XP Home Editionでは使用できません。

●Windowsで高速印刷を実現、LPRソフト「Laneed LPR」を添付

Windows環境で、IP経由でアプリケーションからダイレクトにプリントアウトを可能にするプリンタポートドライバソフトウェアが「Laneed LPR」です。本来不可能であったTCP/IPを使ったダイレクト印刷が可能になります。

●設定ユーティリティからファームウェアのバージョンアップが可能

本製品はファームウェアをフラッシュメモリに記憶していますので、「LD-PS Admin」により本製品のファームウェアをバージョンアップできます。ROM交換の必要もなく、ソフトウェア上から簡単に最新のファームウェアにバージョンアップできます。

●マルチプロトコルだから、あらゆるネットワーク環境に対応

TCP/IPやAppleTalkにも対応するマルチプロトコル対応製品だから、Windows環境だけでなく、UNIXやMac OS環境でも本製品をお使いいただけます。

※AppleTalkはPostScriptプリンタのみ対応

●ほかにも多彩な機能を搭載

- ・設定ユーティリティから必要のないプロトコルを削除可能
- ・BOOTP、DHCPクライアント機能に対応
- ・NetWareでのバイダリーモード、NDSモードをサポート
- ・PJL(Printer Job Language)をサポート

本製品の動作環境

●本製品は次のプロトコルとOSで動作します。

対応プロトコル	NetBEUI(SMB), TCP/IP(LPR), IPX/SPX, Apple Talk
対応OS	Windows XP, Windows Me, Windows98, Windows 95, Windows 2000, Windows NT 4.0, Windows NT 3.51, NetWare 3.2J, Intranet Ware, LAN Manager, IP通信ソフト, Mac OS(漢字Talk7以上)

※最新の動作環境は弊社ホームページ(<http://www.elecom.co.jp>)をご覧ください。

●LD-PS Adminの対応OS

対応OS	Windows XP Professional※, Windows Me, Windows 98, Windows 95, Windows 2000, Windows NT 4.0, Windows NT 3.51
------	---

※Windows XP Home Editionは対応しておりません。

●Laned LPRの対応OS

対応OS	Windows XP, Windows Me, Windows 98, Windows 95, Windows 2000
------	---

Windows XP Home Editionでのご注意

本製品の導入設定に使用するユーティリティ「LD-PS Admin」のために、IPX/SPXプロトコルが使用できる管理用コンピュータが必要になります。しかし、Windows XP Home EditionはIPX/SPXプロトコルを使用するために必要な「NetWare用クライアント サービス」に対応していないため、Windows XP Home Editionを搭載したコンピュータを管理用コンピュータとして使用することはできません。次のような点にご注意ください。

- 管理用コンピュータには、前記の「LD-PS Adminの対応OS」に記載されたOSを搭載したコンピュータをご使用ください。
- このマニュアルに記載された24ページ「LD-PS Adminの基本設定をする」の内容を設定するとプリントサーバの環境を変更しない限りLD-PS Adminを使用することはありませので、一時的にIPX/SPXプロトコルに対応した管理用コンピュータをご用意いただくだけでもかまいません。
- 本製品を経由して印刷に使用するクライアントとしてWindows XP Home Editionを搭載したコンピュータを使用することはできます。

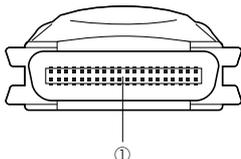
Macintoshで利用する場合

本製品にMacintoshを接続する場合は、次の点についてご確認ください。

- プロトコルにAppleTalkを使用する場合は、PostScript対応プリンタを使用する必要があります。
- 本製品を接続後は、CD-ROMディスク内にある「LD-PS Adminソフトウェアマニュアル」の「AppleTalkでの設定」をお読みになり、必要な設定をしてください。

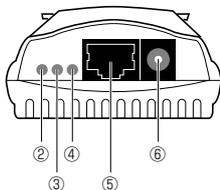
各部の名称とはたらき

■プリンタポート側



①	プリンタコネクタ	プリンタのセントロニクス・パラレルポート(36ピン)に接続します。
---	----------	-----------------------------------

■RJ45ポート側



②	Pw/Tx (LEDインジケータ)	電源が入ると緑色に点灯(または点滅)します。データの送信中は一時的に暗く点滅します。
③	Lk/Rx (LEDインジケータ)	ネットワークに正しく接続されていると緑色に点灯(または点滅)します。データの受信中は一時的に暗く点滅します。
④	LPT (LEDインジケータ)	プリンタポートからプリントデータを送信中に緑色に点灯します。
⑤	RJ45モジュラー ジャック	10BASE-Tまたは100BASE-TXのイーサネットケーブルを差し込みます。
⑥	DCジャック	電源アダプタコネクタ付属のACアダプタの電源プラグを接続します。

付属ソフトウェアについて

本製品には2種類のソフトウェアが付属します。

LPRソフトウェア「Laneed LPR」

「Laneed LPR」は、WindowsのクライアントがTCP/IP経由で直接プリントするためのユーティリティです。Laneed LPRでプリントサーバのIPアドレスを設定すると、Windowsにプリントサーバ用の出力ポートが追加されます。Windowsのプリンタの設定で、「利用できるポート」としてこのポートを選択すると、ローカルプリンタへの印刷と同じような感覚で、TCP/IP経由のダイレクトプリントができるようになります。印刷のたびに出力先(IPアドレス)を設定する必要もなく、ルータを越えたネットワークのプリントサーバにも印刷できます。



Laneed LPRのライセンスについて

Laneed LPRは本製品1台につき、コンピュータ5台までインストールすることができます。6台以上のコンピュータにインストールする場合は、別途「ELECOM LPR MLP(5ライセンスパック)」＝¥9,800を利用数だけで購入いただく必要があります。ご購入については、弊社ラニード・サポートセンターへご連絡ください。

設定ユーティリティ「LD-PS Admin」

「LD-PS Admin」は、本製品を設定するためのWindows版ユーティリティです。LD-PS Adminを使うと、本製品の基本設定からネットワークOSごとの設定など、ネットワークで印刷するための様々な設定が簡単にできます。本製品をネットワークとプリンタに接続した後、管理者のコンピュータにLD-PS Adminをインストールし、各種の設定をおこなってください。インストールと設定の方法については、付属CD-ROMディスクにあるpdf版「LD-PS Adminソフトウェアマニュアル」をご覧ください。



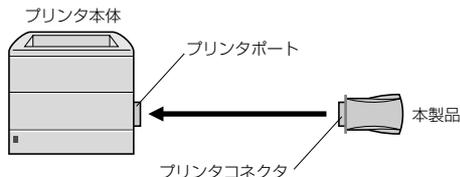
Windows XP Home EditionはNetWare用クライアント サービスに対応していないため「LD-PS Admin」を使用することはできません。詳しくは11ページ「Windows XP Home Editionでのご注意」をお読みください。

4 本製品の取り付け

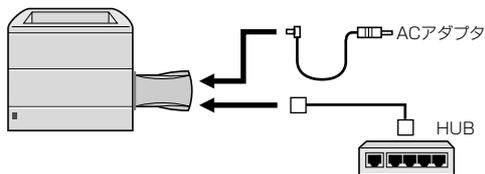
Laneed

本製品をプリンタに取り付けて、ネットワークに接続する方法を説明します。

- 1 プリンタの電源が切れていることを確認します。
- 2 本製品のプリンタコネクタ側をプリンタ本体のプリンタポートに接続します。



- 3 ネットワークにつながったHUBなどと本製品をイーサネットケーブルで接続します。



- 4 付属のACアダプタの電源プラグをDCジャックに差し込みます。ACアダプタ本体をACコンセントに差し込みます。

これで本製品の取り付けは完了です。

5 設定を始める前に

Laneed

本製品の設定には、ネットワークに関する基礎知識が必要です。このあとの説明をお読みになったあとで、17ページ「6.管理用コンピュータを設定する」へ進んでください。また、設定中も必要に応じてこのページを利用してください。

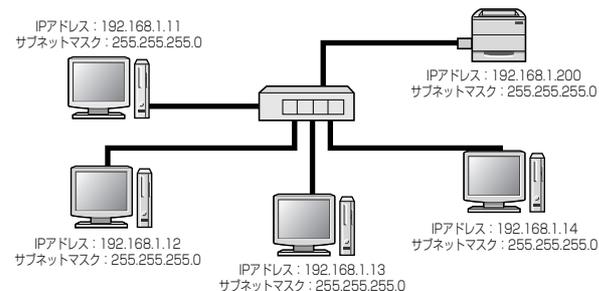
TCP/IPプロトコルについて

ネットワークを使ってデータを送るには、プロトコルと呼ばれる通信手順が使用されます。本製品を利用して印刷するには、「TCP/IPプロトコル」と呼ばれる通信手順を使用します。TCP/IPプロトコルは、インターネットでも利用されるため一般的なプロトコルとして知られています。

IPアドレスについて

TCP/IPプロトコルを使用するには、ネットワークに接続されたクライアント(コンピュータなど)に、IPアドレスやサブネットマスクを割り当てる必要があります。ルータなどのDHCPサーバ機能が利用できる環境では、これらの設定を自動的に割り当てることができます。

◆ネットワークの構築例



●IPアドレス

IPアドレスは4組の数字の組み合わせで構成されています。同じネットワークのクライアントは、はじめの3組の数字は同一で、4組目の数字だけが異なる組み合わせに設定します。また、IPアドレスと同時にサブネットマスクを設定する必要があります。(サブネットマスクが255.255.255.0の場合)

192.168.1.11

ひとつのネットワークでは、この3組の数字は必ず同一でなければならない

ネットワーク機器ごとに異なる数字を設定(ネットワーク上に同じ数字があってはならない)

●サブネットマスク

サブネットマスクも4組の数字の組み合わせで構成されますが、同じネットワークのクライアントのサブネットマスクはすべて同じ数字の組み合わせに設定します。一般的にローカルネットワークでは「255.255.255.0」が使用されます。

●DHCPサーバ機能

DHCPサーバ機能は、IPアドレスやサブネットマスクをクライアントに自動的に割り当ててくれる機能です。ルータにはこの機能を持った製品が多いので、ルータを使用している場合はDHCPサーバ機能を有効にすると、わずらわしい設定は不要になります。

6 管理用コンピュータを設定する

Laneed!

本製品を利用するには、ネットワーク上のクライアント(コンピュータ)のいずれかに設定ユーティリティ「LD-PS Admin」をインストールする必要があります。また、そのコンピュータにだけIPX/SPXプロトコルを設定する必要があります。



Windows XP Home EditionはNetWare用クライアント サービスに対応していないため「LD-PS Admin」を使用することはできません。管理用コンピュータには他のOSを搭載したコンピュータをご用意ください。詳しくは11ページ「Windows XP Home Editionでの注意」をお読みください。

IPX/SPXプロトコルを登録する

本製品の基本設定をおこなうには「LD-PS Admin」という設定ユーティリティを使用します。ネットワーク上のコンピュータの中からいずれか1台を管理用のコンピュータに決めます。「LP-PS Admin」のインストールの前に、「LP-PS Admin」を使用するのに必要なIPX/SPXプロトコルの登録方法を説明します。

- ・ Windows Me/98/95 → このあとの「Windows Me/98/95での設定」へ
- ・ Windows XP Professional → P19 「Windows XP/2000での設定」へ
- ・ Windows 2000 → P19 「Windows XP/2000での設定」へ



IPX/SPXプロトコルが必要なのは、LD-PS Adminをインストールするコンピュータだけです。

Windows Me/98/95での設定

7

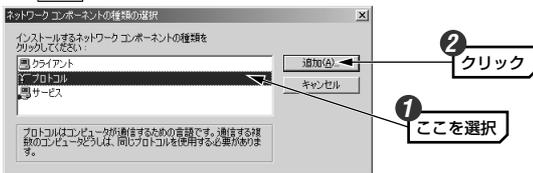
[スタート] → [設定] → [コントロールパネル]の順に選択し、コントロールパネルにある「ネットワーク」をダブルクリックします。



- ・ Windows Meでよく使うコントロールパネルだけが表示されている場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックすると「ネットワーク」が表示されます。

2 【ネットワークの設定】 タブで **追加** ボタンをクリックします。

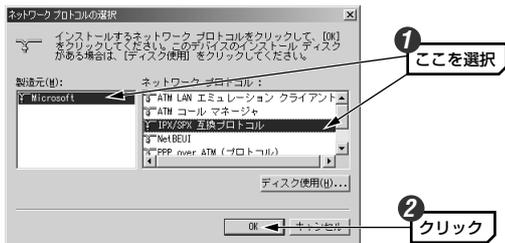
※一覧に表示される内容は、アダプタの種類、ネットワークの環境により異なります。

3 インストールするネットワークコンポーネントとして「プロトコル」を選択し、**追加** ボタンをクリックします。

・「ネットワークプロトコルの選択」画面が表示されます。

4 製造元で「Microsoft」を、プロトコルで「IPX/SPX」を選択します。

OK ボタンをクリックします。

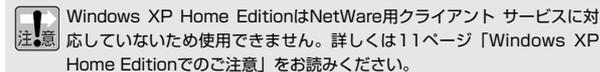
**5** プロトコルが追加されたことを確認します。

これでIPX/SPXプロトコルの登録は完了です。続いて設定ユーティリティ「LD-PS Admin」をインストールします。次ページの「LD-PS Adminをインストールする」へ進みます。

- ・「ネットワーク」画面で **OK** ボタンをクリックすると、再起動を促すメッセージが表示されますので再起動します。
- ・Windows OSのディスクを挿入するように要求された場合は、メッセージに従って操作します。

Windows XP/2000での設定

Windows XP(Professional)およびWindows 2000での設定方法を説明します。プロパティ画面を表示してからの設定手順はどちらのOSも同じです。なお、画面例はWindows XP Professionalを使用しています。

**7** ご使用のOSに合わせてプロパティ画面を表示します。

●Windows XP Professionalの場合

- ①Windows XP ProfessionalにはAdministratorでログオンしておきます。
- ②[スタート]→[コントロールパネル]を選択します。

- ③ [コントロールパネル]で「ネットワークとインターネット接続」を選択します。さらに「コントロールパネルを選んで実行します」にある「ネットワーク接続」を選択します。
- ④ <ネットワーク接続>画面が表示されますので、「[ローカルエリア接続]」を右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択します。
※[ローカルエリア接続]の名称は、アダプタをインストールした環境によって変わります。
- ⑤このあとは手順 2 へ進みます。

●Windows 2000の場合

- ①Windows 2000にはAdministrator権限でログオンしておきます。
- ②[スタート]→[設定]→[ネットワークとダイヤルアップ接続]を開きます。
- ③ <ネットワークとダイヤルアップ接続>画面が表示されますので、[ローカルエリア接続]を右クリックし、メニューから[プロパティ]を選択します。
※[ローカルエリア接続]の名称は、アダプタをインストールした環境によって変わります。
- ④このあとは手順 2 へ進みます。

- 2 **インストール** ボタンをクリックします。<ネットワーク コンポーネントの種類を選択>画面で「プロトコル」を選択し、**追加** ボタンをクリックします。



- 3 「NWLink IPX/SPX/NetBIOS互換トランスポート プロトコル」を選択し、**OK** ボタンをクリックします。



- 4 もう一度 **インストール** ボタンをクリックします。<ネットワーク コンポーネントの種類を選択>画面で「クライアント」を選択し、**追加** ボタンをクリックします。

- 5 「NetWare用クライアント サービス」を選択し、**OK** ボタンをクリックします。



- 6 再起動を促すメッセージが表示された場合は、**はい** をクリックします。

- 7 このあとは、次の「LD-PS Adminをインストールする」へ進みます。

LD-PS Adminをインストールする



Windows XP Home EditionはNetWare用クライアント サービスに対応していないため「LD-PS Admin」を使用することはできません。詳しくは11ページ「Windows XP Home Editionでのご注意」をお読みください。

1 付属のCD-ROMディスクをCD-ROMドライブにセットします。

・自動的にインストーラが起動します。インストーラが起動しない場合は、マイコンピュータなどでCD-ROMの内容を開き、「InstallMenu.exe」をダブルクリックします。

2 「LD-PS Adminのインストール」 ボタンをクリックします。

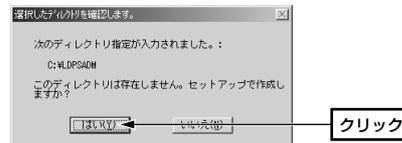


3 画面の指示にしたがって「次へ」 ボタンをクリックします。

4 インストール先を指定します。通常はそのまま変更する必要はありませんので、「次へ」 ボタンをクリックします。



5 ディレクトリが存在しない場合、作成するか確認するメッセージが表示されますので、その場合は「はい」 ボタンをクリックします。



6 インストールが完了すると、〈セットアップの完了〉画面が表示されますので、「終了」 ボタンをクリックします。

これでインストールは完了です。本製品を使用するのに必要な基本設定をします。次の「LD-PS Adminの基本設定をする」へ進みます。

LD-PS Adminの基本設定をする

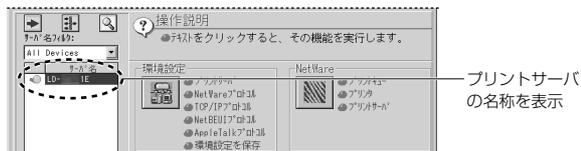
本製品を接続したプリンタがネットワークに接続できていることを確認した上で基本設定を始めてください。

1 本製品とプリンタの電源を入れておきます。

2 [スタート]→[(すべての)プログラム]→[Laneed LD-PS Admin]→[LD-PS Admin V1.xx.J]を選択します。

・ LD-PS Adminが起動します。

3 正常に接続されるとサーバ名にプリントサーバの名称が表示されます。

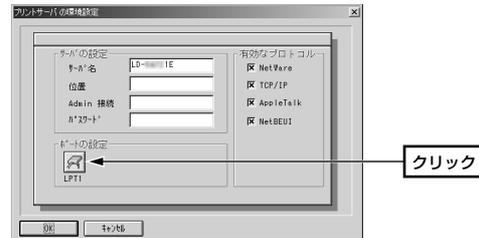


・ 名称は「LD-」のあとに本製品のMACアドレスの下6桁が付いたものです。

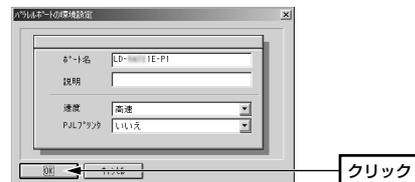
4 「環境設定」の「プリントサーバ」をクリックします。



5 「ポートの設定」にある「LPT1」ボタンをクリックします。



6 「ポート名」に表示されている名称をメモし、「OK」ボタンをクリックします。



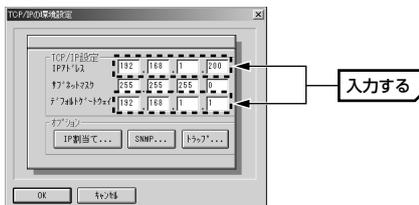
・ ポート名は変更してもかまいません。使用できる文字は半角英数字とハイフン(-)です。入力できる文字数は32文字までです。

ポート名

・ ここで設定したポート名が、Laneed LPRの論理プリンタ名になります。

7 <プリントサーバの環境設定>画面に戻りますので、「OK」ボタンをクリックします。

・ メイン画面に戻ります。

8 「環境設定」の「TCP/IPプロトコル」をクリックします。**9** IPアドレスなどを設定します。設定が終われば **OK** ボタンをクリックします。**●IPアドレス**

あらかじめ各コンピュータに設定したIPアドレスの設定に合わせてください。設定値はメモしておいてください。初期値は「192.168.1.200」です。

プリントサーバのIPアドレス

MEMO IPアドレスの割り当て方について

4組目の数字はコンピュータのIPアドレスとは離れた数字(画面例では200)を設定しておく、コンピュータの台数が増えても変更の必要がなく便利です。

DHCPサーバ機能を使っているので、IPアドレスの空き番号などがわからない場合

ルータなどDHCPサーバ機能を持った機器の場合、ルータの設定ユーティリティにある「DHCPサーバ」の項目を見ると、使用しているIPアドレスの範囲などを知ることができます。本製品にはIPアドレスが自動割り当てされる範囲外のIPアドレスを割り当てます。

●サブネットマスク

通常は「255.255.255.0」のまま変更しないでください。

●デフォルトゲートウェイ

ルータなどを設置している場合には、ルータのIPアドレスをデフォルトゲートウェイとして入力します。その他の場合は、各コンピュータに設定したIPアドレスの上位3組の数字と、最後の組に「1」を設定した状態にします。

(例) 192.168.1.xxの場合→192.168.1.1

10 TCP/IPプロトコルの設定が終われば、「環境設定」の「環境設定を保存」をクリックします。**11** 保存を確認するメッセージが表示されますので、**はい** ボタンをクリックします。**12** 完了のメッセージが表示されますので、**OK** ボタンをクリックします。

18 LD-PS Adminを終了します。クローズボックスをクリックするなどして画面を閉じます。

- ・「環境ファイルは変更されています。変更を保存しますか？」とメッセージが表示されます。これは設定内容をファイルとして保存するかどうか確認するものです。通常は **いいえ** ボタンをクリックします。

MEMO 環境ファイルを作成した場合

はい ボタンをクリックするとファイルの保存場所と名称を尋ねられます。任意の名前を入力して保存してください。

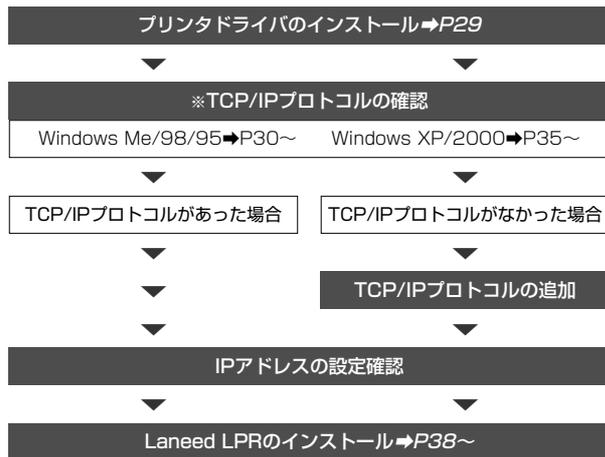
これで管理用コンピュータの設定は完了です。印刷が実行できるように各クライアントの設定をします。次ページの「7.クライアント側の設定をする」へ進みます。

7 クライアント側の設定をする

Laneed!

ネットワーク上の各クライアント(コンピュータ)に必要な設定をします。なお、管理用に使用するコンピュータから印刷を実行する場合は、他のクライアントと同じようにクライアント側の設定をする必要があります。

●設定の手順



※ブロードバンドルータまたはISDNルータで、すでにインターネットに接続しているネットワーク環境では、TCP/IPプロトコルの確認とIPアドレスの設定は必要ありません。

プリンタドライバをインストールする

本製品に接続しているプリンタのプリンタドライバを各クライアント(コンピュータ)にインストールしてください。プリンタドライバは印刷を実行するすべてのクライアントに必要です。プリンタドライバのインストール方法は、プリンタに付属のマニュアルをお読みください。

Windows Me/98/95での設定 (TCP/IPプロトコル)

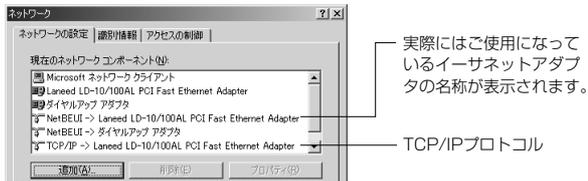
ここでは、Windows Me/98/95におけるTCP/IPプロトコルの確認方法とIPアドレスの設定方法を説明します。画面例はWindows Meを使用しています。Windows 98/95では、項目の名称等が一部異なりますが手順は同じです。

TCP/IPプロトコルの確認方法

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の順に選択し、コントロールパネルにある「ネットワーク」をダブルクリックします。 

・Windows Meでよく使うコントロールパネルだけが表示されている場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックすると「ネットワーク」が表示されます。

2 〈ネットワーク〉画面が表示されますので、一覧にTCP/IPがあることを確認します。



※一覧に表示される内容は、アダプタの種類、ネットワークの環境により異なります。

・複数のアダプタが登録されている場合は、「TCP/IP->LD-10/100AL PCI Fast Ethernet Adapter」のように「TCP/IP->」で表示されます。(例)イーサネットアダプタとダイヤルアップアダプタがある場合



※ご使用になっているアダプタによって表示される名称は異なります。

・TCP/IPが見当たらない場合は、次の「TCP/IPプロトコルの追加方法」へ進みます。TCP/IPがあった場合は、33ページ「Windows Me/98/95での設定(IPアドレス)」へ進みます。

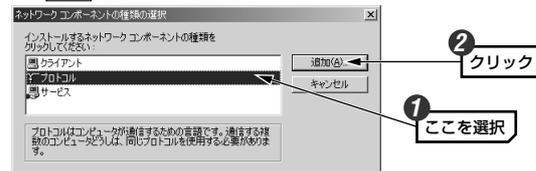
TCP/IPプロトコルの追加方法

1 【ネットワークの設定】タブで「追加」ボタンをクリックします。



※一覧に表示される内容は、アダプタの種類、ネットワークの環境により異なります。

2 インストールするネットワークコンポーネントとして「プロトコル」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。



・〈ネットワークプロトコルの選択〉画面が表示されます。

- 3** 製造元で「Microsoft」を、プロトコルで「TCP/IP」を選択します。 **OK** ボタンをクリックします。



- 4** プロトコルが追加されたことを確認します。



IPアドレスの設定を確認します。次の「Windows Me/98/95での設定 (IPアドレス)」へ進みます。

Windows Me/98/95での設定 (IPアドレス)

IPアドレスの設定方法

IPアドレスの設定を確認します。必要に応じてIPアドレス等の設定を変更します。

- 1** 一覧のTCP/IPプロトコルを選択し、**プロパティ** ボタンをクリックします。



・アダプタが複数登録されている場合は、「TCP/IP->○○○○」のように複数のTCP/IPが表示されますので、プリントサーバに使用するアダプタが表示されたTCP/IPを選択します。

(例)



※ご使用になっているアダプタによって表示される名称は異なります。

※「ダイヤルアップアダプタ」はイーサネットアダプタではありません。

- 2** DHCPサーバ機能を持った機器がLAN上に存在している場合は、「IPアドレスを自動的に取得」を選択します。

DHCPサーバ機能を使用していない場合は、「IPアドレスを指定」を選択し、IPアドレスとサブネットマスクを入力します。

(例)DHCPサーバがある場合



(例)DHCPサーバがなく手動で割り当てる場合



- ・ネットワークに関する詳しい知識がない場合は、上位3組の数字を「192.168.1」とし、4組目は「11」から順に各コンピュータに割り当てます。⇒15ページの「ネットワークの構築例」を参照してください。
- ・サブネットマスクは「255.255.255.0」を設定してください。

MEMO ネットワーク管理者などから設定内容について指示がある場合はその指示に従ってください。

これでIPアドレスの設定は完了です。38ページ「Laneed LPRをインストールする」へ進みます。

Windows XP/2000での確認

〈ローカルエリア接続のプロパティ〉画面を表示して設定を確認します。Windows XPおよびWindows 2000ではTCP/IPプロトコルは初期値として登録されています。ただし、DHCPサーバを使用していない場合は手動でIPアドレスを割り当てる作業が必要です。

プロパティの表示方法

●Windows XPの場合

- ①Windows XP Professionalの場合は、Administratorでログオンしておきます。Home Editionの場合は通常通りログオンします。
- ②[スタート]→[コントロールパネル]を選択します。
- ③[コントロールパネル]で「ネットワークとインターネット接続」を選択します。さらに「コントロールパネルを選んで実行します」にある「ネットワーク接続」を選択します。
- ④〈ネットワーク接続〉画面が表示されますので、「ローカルエリア接続」を右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択します。
※[ローカルエリア接続]の名称は、アダプタをインストールした環境によって変わります。
- ⑤このあとは次の「TCP/IPプロトコルの確認と設定」へ進みます。

●Windows 2000の場合

- ①Windows 2000にはAdministrator権限でログオンしておきます。
- ②[スタート]→[設定]→[ネットワークとダイヤルアップ接続]を開きます。
- ③〈ネットワークとダイヤルアップ接続〉画面が表示されますので、[ローカルエリア接続]を右クリックし、メニューから[プロパティ]を選択します。
※[ローカルエリア接続]の名称は、アダプタをインストールした環境によって変わります。
- ④このあとは次の「TCP/IPプロトコルの確認と設定」へ進みます。

TCP/IPプロトコルの確認と設定

- 1** 一覧に「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が登録されていることを確認します。

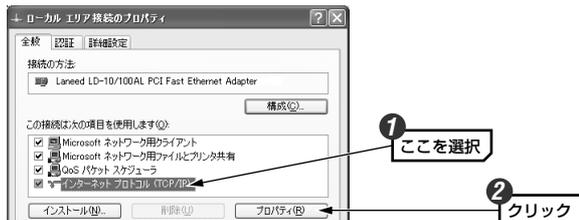


MEMO TCP/IPが見つからない場合は…

次の手順で登録します。

- ① <ローカルエリア接続のプロパティ> 画面で **インストール** ボタンをクリックします。
- ② 「プロトコル」を選択し、**追加** ボタンをクリックします。
- ③ これでTCP/IPプロトコルが登録されました。

- 2** 「インターネット プロトコル(TCP/IP)」を選択し、**プロパティ** ボタンをクリックします。



- 3** DHCPサーバ機能を持った機器がLAN上に存在している場合は、「IPアドレスを自動的に取得する」を選択します。DHCPサーバ機能を使用していない場合は、「次のIPアドレスを使う」を選択し、IPアドレスとサブネットマスクを入力します。

(例)DHCPサーバがある場合

IPアドレスを自動的に取得する

(例)DHCPサーバがなく手動で割り当てる場合

次の IP アドレスを使う

IP アドレス	192	168	1	111
サブネット マスク	255	255	255	0
デフォルト ゲートウェイ	192	168	1	1

- ・ ネットワークに関する詳しい知識がない場合は、上位3組の数字を「192.168.1」とし、4組目は「11」から順に各コンピュータに割り当てます。➡15ページの「ネットワークの構築例」を参照してください。
- ・ サブネットマスクは「255.255.255.0」を設定してください。
- ・ デフォルトゲートウェイがわからない場合は、上位3組の数字をIPアドレスと合わせて4組目を「1」に設定します。

MEMO ネットワーク管理者などから設定内容について指示がある場合はその指示に従ってください。

これでTCP/IPプロトコルの確認と設定は完了です。38ページ「Laneed LPRをインストールする」へ進みます。

Laneed LPRをインストールする

本製品を經由してプリンタから印刷するすべてのクライアント(コンピュータ)に同じ作業をしてください。Laneed LPRが使用できるOSはWindows XP/Me/98/95/2000です。



Laneed LPRのライセンスについて

Laneed LPRは本製品1台につき、コンピュータ5台までインストールすることができます。6台以上のコンピュータにインストールする場合は、別途「ELECOM LPR MLP(5ライセンスパック)」＝¥9,800を利用数だけご購入いただく必要があります。ご購入については、弊社ラニード・サポートセンターへご連絡ください。

1 付属のCD-ROMディスクをCD-ROMドライブにセットします。

・自動的にインストーラが起動します。インストーラが起動しない場合は、マイコンピュータなどでCD-ROMの内容を開き、「InstallMenu.exe」をダブルクリックします。

2 Laneed LPRのインストール ボタンをクリックします。



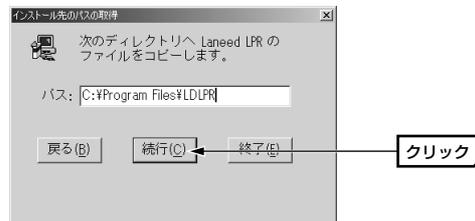
3 「続行」ボタンをクリックします。



4 シリアル番号を入力し、「続行」ボタンをクリックします。シリアル番号は付属のCD-ROMディスクに記載されている9桁-9桁の数字です。



5 インストール先を指定し、「続行」ボタンをクリックします。通常は変更する必要はありません。



6 インストールが完了したことを知らせるメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。



これで「Laneed LPR」のインストールは完了です。

・ドライブからCD-ROMディスクを取り出し、大切に保管してください。

8 ポートの設定とテスト印刷

Laneed

Laneed LPRとプリンタのプロパティに必要な設定をおこないます。すべての設定が終わればテスト印刷を実行して、正常に設定が完了したかを確認します。

Laneed LPRを設定する

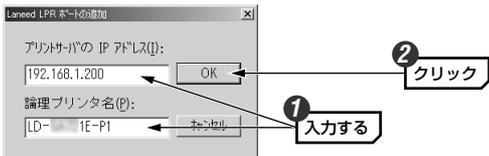
1 [スタート]→[(すべての)プログラム]→[Laneed LPR]→[Laneed LPRの設定]を選択します。

・〈Laneed LPR設定〉画面が表示されます。

2 **ポートの追加** ボタンをクリックします。



3 プリントサーバの割り当てるIPアドレスと論理プリンタ名を入力し、**OK** ボタンをクリックします。



● **プリントサーバのIPアドレス**

LD-PS Adminで設定したIPアドレスを指定します (⇒26ページ参照)。

● **論理プリンタ名**

LD-PS Adminで設定したポート名を指定します (⇒25ページ参照)。

4 設定した内容が一覧に表示されます。すべての設定が終われば、**設定終了** ボタンをクリックします。



これでLaneed LPRの設定は完了です。続いて各クライアントにプリンタの設定をします。43ページ「プリンタの設定をする」へ進みます。

・ Laneed LPRに登録したポート情報を保存したり、保存した内容を読み出したりできます。詳しくは次ページ「登録したポート情報を保存する」をお読みください。

MEMO 登録したポートを削除するには…

Laneed LPRを起動し、「プリントサーバ用ポート一覧」で削除したいポートを選択してから、**ポートの削除** ボタンをクリックします。

登録したポート情報を保存する

登録したポート情報をファイルに保存することができます。同じ設定を複数のコンピュータに設定したい場合や、一度アンインストールしたあとで、もう一度設定したい場合などに使用できます。

ポート情報の保存

- ① Laneed LPRを起動し、【ファイル】メニューの「保存」を選択します。
- ② <名前を付けて保存>画面が表示されます。保存場所とファイル名を指定して、**保存** ボタンをクリックします。
- ③ 保存されたことを知らせるメッセージが表示されます。**OK** ボタンをクリックします。

ポート情報の読み込み

- ① Laneed LPRを起動し、【ファイル】メニューの「開く」を選択します。
- ② 保存したファイルを指定し、**開く** ボタンをクリックします。
- ③ 読み込みを確認するメッセージが表示されます。**OK** ボタンをクリックします。
- ④ 読み込まれたことを知らせるメッセージが表示されます。**OK** ボタンをクリックします。

プリンタの設定をする

Windows Me/98/95での設定

ここでは、Windows Meの画面を使用しています。Windows 98/95も同じ手順で設定できます。

- 1** プリンタを使用するクライアント(コンピュータ)に、あらかじめ「Laneed LPR」とプリンタのドライバをインストールしておきます。

- ・「Laneed LPR」のインストール方法は、38ページ「Laneed LPRをインストールする」をお読みください。
- ・プリンタドライバのインストール方法はプリンタのマニュアルをお読みください。

- 2** [スタート]→[設定]→[プリンタ]を選択します。

- 3** 使用するプリンタ名を右クリックし、「プロパティ」を選択します。



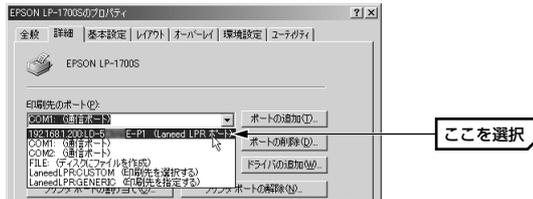
- ・ここでは、例としてプリンタにEPSON LP-1700Sを接続しています。

- 4** 【詳細】タブを選択します。



- ・表示されるタブの数や種類はプリンタの機種によって変化します。

- 5** 「印刷先のポート」のプルダウンメニューを開き、「プリントサーバのIPアドレス：論理プリンタ名(Laneed LPRポート)」を選択します。



(例) 192.168.1.200 : LD-5AXXE1-P1 (Laneed LPRポート)

- 6** プリンタのプロパティの **OK** ボタンをクリックします。

・〈プリンタ〉画面を閉じます。

- 7** ワープロソフトやWebブラウザなどで適当な内容を表示し、印刷機能を選択します。

- 8** 「プリンタ名」に使用するプリンタが、「場所」に手順 **5** のポートが選択されていることを確認し、表示されている内容をテスト印刷します。



・正常に接続されている場合は、「状態」に「使用可能」と表示されます。
 ・用紙設定等は環境に合わせて設定してください。

- 9** 設定が正しければ画面に表示されていたページが印刷されます。

これでプリントサーバ機能が利用できるようになりました。各クライアントで同じように設定してください。

Windows XP/2000での設定

画面はWindows XPを使用していますがWindows 2000でも手順は同じです。

- 1** プリンタを使用するクライアント(コンピュータ)に、あらかじめ「Laneed LPR」とプリンタのドライバをインストールしておきます。

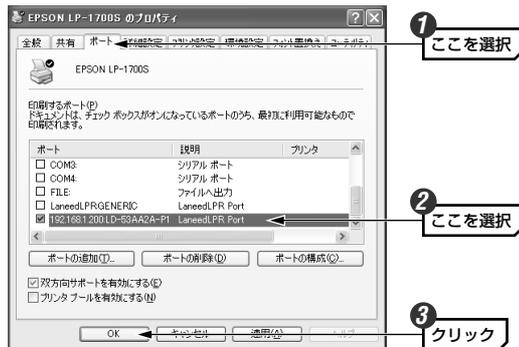
・「Laneed LPR」のインストール方法は、38ページ「Laneed LPRをインストールする」をお読みください。
 ・プリンタドライバのインストール方法はプリンタのマニュアルをお読みください。

- 2** Windows XPでは[スタート]→[プリンタとFAX]を選択します。
 Windows 2000では[スタート]→[プリンタ]を選択します。

- 3** 使用するプリンタを右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択します。



- 4** 【ポート】タブを選択します。次にポートのリストの中から「プリントサーバのIPアドレス：論理プリンタ名」を選択し、**OK** ボタンをクリックします。



(例) 192.168.1.200:LD-53XXXX-P1

・表示されるタブの数や種類はプリンタの機種など環境によって変化します。

- 5** ワープロソフトやWebブラウザなどで適当な内容を表示し、印刷機能を選択します。

- 6** 印刷を実行します。設定が正しければ指定した内容が印刷されます。

これでプリントサーバ機能が利用できるようになりました。各クライアントで同じように設定してください。

9 こんなときは

Laneed!

LD-PS Adminで本製品を認識できない

●Windows XP Home Editionで使用していませんか？

➔Windows XP Home Editionは、IPX/SPXプロトコルを使用するために必要な「NetWare用クライアント サービス」に対応していないため、Windows XP Home Editionを搭載したコンピュータでLD-PS Adminを使用することはできません。詳しくは11ページをお読みください。

●IPX/SPXプロトコルを登録しましたか？

➔LD-PS Adminを使用するにはIPX/SPXプロトコルが登録されている必要があります。管理用コンピュータの設定を確認してください。

●本製品の電源を入れてからLD-PS Adminを起動しましたか？

➔これらの機器の電源が入った状態で起動しないと、本製品を認識することはできません。LD-PS Adminを起動してから、これらの機器に電源を入れたあと再検索してください。

印刷を実行できない

●イーサネットケーブルの接続は正しいですか？

➔Lk/Rxインジケータは点灯していますか。ケーブルがしっかりと差し込まれているかを確認してください。また、本製品をHUB経由で接続している場合は、ストレートケーブルで接続する必要があります。クロスケーブルを使用していないか確認してください。

●本製品とプリンタの電源は入っていますか？

➔これらの機器の電源が入っているか確認してください。

●各クライアントにTCP/IPプロトコルは登録されていますか？

➔本製品を使用するにはTCP/IPプロトコルが登録されている必要があります。各クライアントのネットワーク設定を確認してください。

- 各クライアントにプリンタのドライバをインストールしていますか？
➔各クライアントには、本製品の付属ユーティリティ「Laneed LPR」以外に本製品を接続しているプリンタのドライバをインストールする必要があります。
- Laneed LPRをインストールしていますか？
➔各クライアントには、Laneed LPRをインストールし、Laneed LPRを使ってIPアドレスと論理プリンタ名を指定する必要があります。
- LD-PS Adminで本製品にIPアドレスなどを割り当てましたか？
➔本製品にはDHCPクライアント機能はありません。必ずLD-PS AdminでIPアドレスを割り当ててください。
- プリンタのプロパティでポートを指定しましたか？
➔設定の最後に、プリンタのプロパティでポートを指定する必要があります。

その他

- DHCPサーバ機能を使っているので、IPアドレスの空き番号などがわからない。
➔DHCPサーバ機能を持つ機器のユーティリティを起動し、DHCPサーバ機能に関する設定項目を確認してください。現在使用中のIPアドレスの範囲などを知ることができます。本製品にはIPアドレスが自動割り当てされる範囲外のIPアドレスを割り当てます。

- クライアント(コンピュータ)のIPアドレス等を知りたいとき。

A. Windows XP/2000の場合

コマンドプロンプトを表示し、「ipconfig」を実行してください。

(例)Windows XPでの実行方法

- ①[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンドプロンプト]を選択します。
- ②「>」の後ろでカーソル点滅していますので、キーボードから「ipconfig」と入力し、**[Enter]** キーを押します。
- ③IPアドレス等が表示されます。

```
C:\Documents and Settings¥user>ipconfig

Windows IP Configuration

Ethernet adapter ローカル エリア接続:

    Connection-specific DNS Suffix . . . . . : WorkGroup
    IP Address . . . . . : 192.168.1.16
    Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
    Default Gateway . . . . . : 192.168.1.254
```

B. Windows Me/98の場合

- ①[スタート]メニューから[ファイル名を指定して実行]を選択します。
- ②「名前」に「winipcfg」と入力し、**[OK]** ボタンをクリックします。
- ③「IP設定」画面が表示されます。終了するときは、画面右上の**[X]**をクリックします。



- もし、IPアドレス、サブネットマスクなどが正常に取得できていないようであれば、**[すべて書き換え]** ボタンをクリックします。
- IPアドレス自体が取得できない場合は、クライアントが正常にネットワークに接続されていないか、本製品のDHCPサーバ機能が「使用しない」に設定されているなどが原因として考えられます。

ラニード製品のサポートサービスについては、下記のラニード・サポートセンターへお電話またはFAXでご連絡ください。サポート情報、製品情報に関しては、FAX情報、インターネットでも提供しております。なお、サポートサービスを受けるためには、必ずユーザ登録をおこなってください。

●ラニード・サポートセンター

TEL : 03-3444-5571 FAX : 03-3444-8205

受付時間：月～金曜日 9:00～12:00 13:00～18:00
(夏期・年末年始特定休業日、祝祭日は除きます)
※FAXによる受信は24時間おこなっております。

●インターネット

<http://www.elecom.co.jp>

●FAX情報サービス

最寄りのサービス情報BOXセンターにお電話ください。
ガイダンスに従って取り出したい情報のBOX番号を指示してください。

メインメニューBOX番号(提供している情報の一覧がFAXされます)

559900

電話番号

東京：03-3940-6000	大阪：06-6455-6000
名古屋：052-453-6000	福岡：092-482-6000
札幌：011-210-6000	仙台：022-268-6000
広島：082-223-6000	

●修理の依頼

本製品が故障した場合には、故障した製品と保証書に、故障状況を記入したものを添えてご連絡ください。

保証期間内

まずは、上記のラニード・サポートセンターまで電話またはFAXでご連絡ください。

保証期間外

東京都八王子市子安町3-5-2 セキエレクトロニクス株式会社内
エレコム修理センター
電話番号 0426-31-0271 FAX番号 0426-31-0272
受付時間 月曜日～金曜日 9:00～12:00 13:00～17:00
(ただし、祝祭日および夏期・年末年始特定休業日は除く)
※FAXによる受信は24時間おこなっております。

●サポートセンターへお電話される前に

サポートセンターにお電話される前に次の事項を確認してください。

- ・このマニュアルの47ページ「9.こんなときは」をお読みになりましたか。まだ、お読みでない場合は、お電話の前にお読みください。
- ・システムを起動できる場合は、起動した状態でお電話ください。
- ・異常のある製品を取り付けたコンピュータの前から会話が可能な場合は、コンピュータの前からお電話をおかけください。実際に操作しながらチェックできますので、解決しやすくなります。
- ・FAXを送られる場合は、付属の別紙「トラブルシート」に、できるだけ詳しい内容をご記入ください。

次のことをご確認ください。

●ネットワーク構成

使用しているネットワークアダプタ：
使用しているOS：
使用しているコンピュータ本体(メーカーおよび型番)：
ネットワークを構成するコンピュータの台数とOSの構成：
ネットワークを構成するその他の関連機器(HUB、ルータ等)：

●具体的な現象について

具体的な現象：
事前にお客様が試みられた事項(あればお伝えください)：

商品名	10/100Mbpsマルチプロトコル対応 1ポートコンパクトプリントサーバ
製品型番	LD-1PSTL/TX
印刷プロトコル	NetBEUI(SMB), IPX/SPX, TCP/IP(LPR), AppleTalk
イーサネット インターフェイス	10BASE-T, 100BASE-TX
ネットワークポート	RJ45イーサネットポート
プリンタポート	パラレルポート×1(セントロニクス36ピン オス)
ハードウェア	80186EM-20 CPU 512Kバイトフラッシュメモリ 512KDRAM×メモリ 16ビットLANコントローラ
LED	Pw/Tx: 電源/送信 Lk/Rx: リンクの確立/受信 LPT: プリンタへの送信
電源	DC5V
消費電力	2.5W
動作温度	0~50℃
動作湿度	5~95%(結露なきこと)
適合規格	FCC Class A準拠、VCCI Class 1準拠
形状寸法/重量	幅57×高さ26×奥行93 mm/65g
対応OS	Windows XP ※, Windows Me, Windows 98, Windows 95, Windows 2000, Windows NT 3.51, Windows NT 4.0, NetWare3.2J, Intranet Ware, LAN Manager, IP通信ソフト, Mac OS (漢字Talk7以上)
付属品	CD-ROMディスク(1枚), ユーザーズマニュアル, ユーザ登録カード、保証書

※LD-PS AdminについてはWindows XP Home Editionでご使用になれません。
詳しくは11ページをお読みください。

10/100Mbpsマルチプロトコル対応 コンパクト1ポートプリントサーバ
LD-1PSTL/TX

ユーザーズマニュアル
発行 エレコム株式会社
2002年8月27日 第2版

Laneed

ELECOM